

の実施に当たるのか基本的な考え方をお伺う。

また、この件について例えば今後消防詰所など更新計画が何棟かありますが、この消防車庫詰所などについては、例えば建坪・構造・仕様について現在は1つ1つについて設計をしてデザイン、建て方についても違っているように見受けられます。

もし、そういった要件が同じであれば、複数ある場合は一括して設計等をすれば相当費用が少なく済むと思うわけですが、一つ一つではなくなる程度一括した形で設計に委ねるといいうな考えはないか合わせて伺う。

答 (青山総務課長) 始めに地域への説明会ということですが、今後必要に応じて開催することも検討していきたいと考えています。

次に予算枠について、限られた財源の中で施設によって要する経費も大きく異なるので、予算枠を設けることは容易なことではないと考えています。今後の進め方としては、これまでのように予算編成前にこの個別計画の見直しも含めたヒアリングの実施、それを元にした各事業の実施計画を定め、それを踏まえて予算査定、予算編成を実施したいと考えています。

また、消防詰所など建坪や構造・仕様など同じようなものであれば、設計は一回で済むので

は？というご質問ですが、同じ土地に同じ年度に全く同じ物を建てるのであれば一回で済むかと思いますが、同じ消防詰所でも、場所が違えば、その土地の形状あるいは地盤の状況などによって設計も変わってきます。また、それぞれ地元の要望や消防団の意向等も伺いながら設計をする必要もあります。年度が違えば、人件費や資材、建築などの単価も変わりますので、一回で済ませることは非常に難しいと考えます。

館林久宜議員

観光の地域連携について

Q1 観光振興について

問 これからは可茂広域での観光における連携が重要になってくるのではないかと考えます。例えば、周辺地域の観光スポットと八百津町内の観光地。杉原記念館だけでなく他の観光地もあり、本町商店街などに人を呼び込むような、そんな観光ツアーを旅行会社と共に企画をして行ってもらえるのはどうか。

周辺地域と連携し、地域内の飲食店や施設で利用できるクーポンを納めた冊子を作成したり、あるいは広域で地域の特産品を賞品とするようなスタンプラリーを開催し、都市部の人をこの

地域に呼び込むようにアピールを考えてみてはどうか。広域で考えれば、他にももっとアイデアが生まれてくるはずですが、このように、八百津町単独では限界がある活動も、広域で行うことによってその効果が大きく広がっていくものと思われる。

近隣市町村の観光協会等と連携を図って観光客の誘致、観光客をこの地域内に滞留させ、更には経済的な効果を得るようなことを目指してみてはどうか執行部の考えを伺う。

答 (山内タウンプロモーション室長)

現在の状況について八百津町観光協会では、毎月第3日曜日に杉原千畝記念館前で、観光案内や物販を行うマルシェが開催されています。この開催日を増やし、10月から12月17日まで毎週日曜日に開催されることとなっています。また、商工会との連携事業では、来館記念サービスチケット付の「杉原千畝のふるさと探訪」のリーフレットを、9月下旬から12月まで杉原千畝記念館来館者に配布しています。

五宝滝や発電所資料館などの名所や町内29店舗を紹介し、29枚のそれぞれの店舗のサービス券が付き、来館者に町内を探訪していただくものとなっています。これにより、記念館に訪れた方を、町内のそれぞれの場所へ誘引できないかと考えています。

広域では、みのかも定住自立圏の「みのかも魅力発信」名古屋交流拠点事業で、加茂エリアの7市町村の良いところを発信するプロジェクト「スキ♥カモ」を実施して季節にあわせて年数回のリーフレット作成し、愛知県内を中心に配布しています。

また、担当者も情報を共有しそれぞれ強みを生かし連携した情報発信も行っています。

名鉄広見線活性化協議会では、本年度2回モニターツアーを計画しています。名鉄広見線を利用して御嵩駅を発着し、当町・御嵩町・可児市の名所を巡るモニターツアーで町内の商店街の散策も含まれています。また、愛知・岐阜連携広域観光推進協議会(愛知県・岐阜県・愛知県観光連盟・岐阜県観光連盟)による名古屋市からの当町へのモニターツアーも計画され、このツアーも町内商店街の散策が含まれています。

食べ物や土産物などの販売については、個々の町内の商店の方に頑張っていたただかなければいけません。新たな商品開発などの色々なアイデアを出し、活気のある商店街を目指していただきたいと考えています。

名古屋市・高山市・白川村・金沢市・敦賀市・当町で構成する杉原千畝ルート推進協議会では、6市町村をつなぐ観光ルートを「杉原千畝ルート」として、ユダヤ系民族の最大国家であるイスラエルと最大国家に次ぐ米国の観光展に、参加するなど誘客活動を行っています。また、岐阜県でも、海外で杉原千畝記念館を含め県内観光地を紹介することも検討されています。

美濃加茂市を中心とした定住自立圏構想の「スキ♥カモ」というリーフレットは、7市町村で構成し作っていますのでページ数も限られ、八百津町だけのクーポンというのを今すぐ入れ

問 交通手段が車を中心というところで、やはり駐車場の問題が一番だと思います。商店街のすぐそばには駐車場がないので、やはりファミリーセンターの駐車場とか職員が使用している駐車場とかが主になると思っています。そういう所から商店街へ向けての道筋のような、看板とかそういうことも検討していただければいけないと思うが考えを伺う。

答 (山内タウンプロモーション室長)

美濃加茂市を中心とした定住自立圏構想の「スキ♥カモ」というリーフレットは、7市町村で構成し作っていますのでページ数も限られ、八百津町だけのクーポンというのを今すぐ入れ